

みどり 水土里ネット（土地改良区） とち かいりょうく

安全でおいしい農産物を、みんなに安くたくさんとどけるために、農地を大きくしたり、形をととのえたり、田畑に水を運ぶ「水のみち」を守ったりしている農家の団体のこと。土地改良区をもっと親しみやすく感じてもらうために、土地改良区の愛称を「水土里ネット」と名付けました。

みどり 水土里ネットの意味

「水土里ネット」の「水」「土」「里」には次のような意味がこめられ、土地改良区の将来の役割と姿を表現しています。

「水」…農業用水、地域用水など。

「土」…土地、農地、土壌など。

「里」…農地空間。農家や地域に住んでいる人がなかよく暮らすことなど。

「水土里」…豊かな自然環境、美しい風景のことで、美味しい水、きれいな空気など、清らかなイメージを表しています。

にじゅういっせいきとちかいりょうくそうごううんどう 21世紀土地改良区創造運動

土地改良区のことをもっと知ってもらうために、全国の土地改良区でとりくんでいる運動、愛称の「水土里ネット」を決めたのもこの運動の一つ。

水辺のウォーキングや生き物観察会、水路のクリーン作戦など、いろいろな活動を通して、地域みんなと手をつなぎ、よりよい方向に進んでいける土地改良区を目指しています。

地域の農地と
水を守っている
農家の集まりを
「土地改良区」という

愛称は「水土里ネット」
全国に約7千あるんだ

とち かいりょうく
土地改良区

